

NEXT 20プロジェクトチーム 最終報告書



プロジェクトチームからの提案の全体像

理念

楽しく！笑って！
過ごせるまち
～未来へ輝くいまばりに～

政策

イベントを通じた地域の
魅力発信、地域間
連携の促進

施策

地域資源を活用した
イベントの実施

イベント等を通じた市域
の周遊を促す取り組み

市民とともに地域の
将来を語り合う仕組み
づくり

事業

食を通じた魅力発信

熱気球搭乗体験

キャンプに関するイベント

伝統芸能の活用

造船所等の工場見学

市域全域で打ち上げ花火

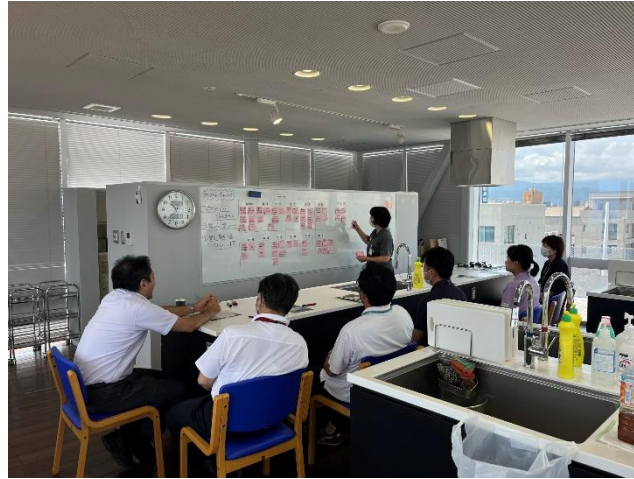
スタンプラリーの実施

こどもみらい会議の開催

市民と行政の新たな
関係性の構築

これまでの活動

1. キックオフミーティング
2. 地域資源を活用したイベント等のアイデア出し
3. 市民アンケート調査



地域資源を活用したイベント等のアイデア出し

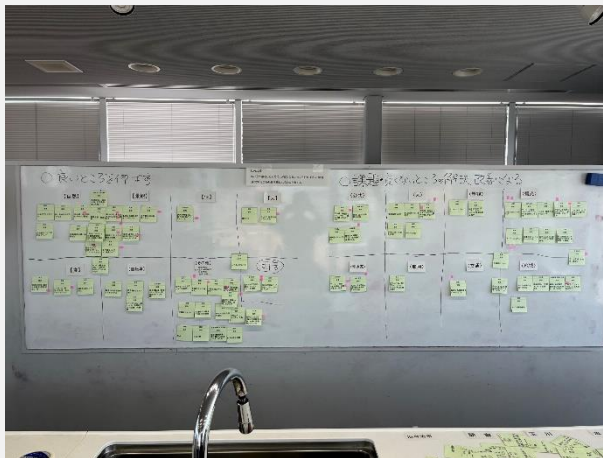
1. やってみたいイベント



2. 今治市の良いところ、課題・良くないところ



3. 良いところを伸ばす、もしくは課題・良くないところの解決・改善に繋がるものを整理



4. プロジェクトチームで取り組むテーマの絞り込み ※PTメンバーで投票



◇ P Tメンバーでの投票結果

票数	項目・内容
6票	● 造船所等の工場見学
5票	● 食に関するイベント
4票	● キャンプをテーマにしたイベント ● 熱気球搭乗体験 ● 市域を対象としたスタンプラリー
3票	● 花火に関するイベント ● 伝統芸能(継ぎ獅子・獅子舞・盆踊り)を活かしたイベント
2票	● 商店街アーケードを使ったイベント
1票	● 市内各地域のイベントに有名人を呼ぶ ● 多々羅大橋塔頂ツアー ● 亀老山の自転車タイムトライアル ● 大西藤山公園でラジオ体操公開放送 ● 隈研吾の建築巡り

◇ アンケート調査選択項目の決定

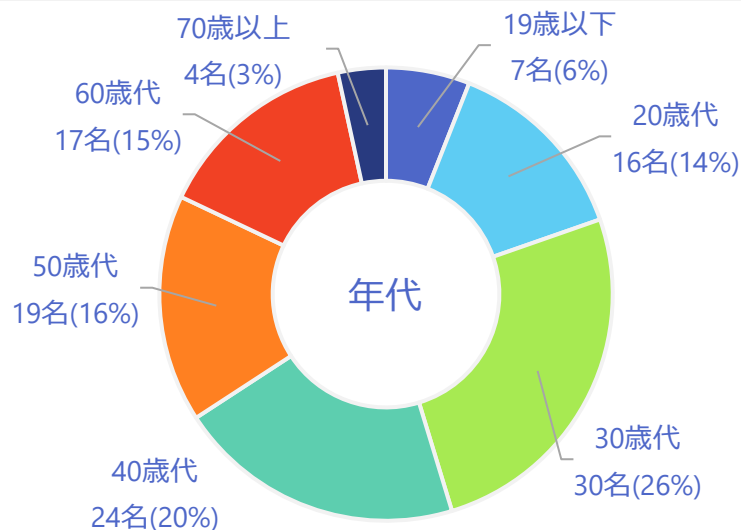
- ① 造船所等の工場見学
- ② 食に関するイベント
- ③ キャンプをテーマにしたイベント
- ④ 熱気球搭乗体験
- ⑤ 花火に関するイベント
- ⑥ 伝統芸能(継ぎ獅子・獅子舞・盆踊り)を活かしたイベント
- ⑦ 商店街アーケードを使ったイベント
- ⑧ ラジオ体操公開放送

市民アンケート調査の実施

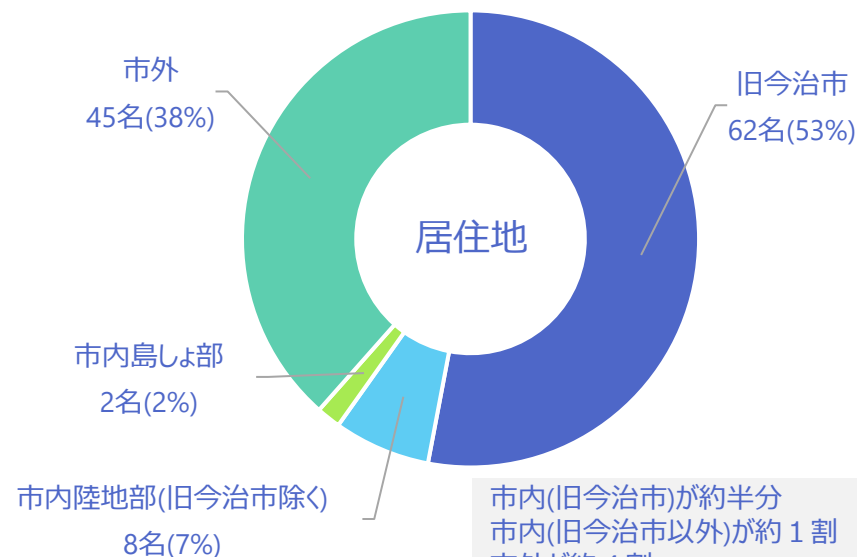
市民アンケート調査の実施

◇ 調査概要

- 日時
令和5年9月24日(日) 9時～13時
- 場所
みなとマルシェ会場
- 方法
タブレット端末を使用し、来場者への聞き取り方式で実施
- 回答者数
117名



比較的若い世代(40歳代以下)から意見聴取

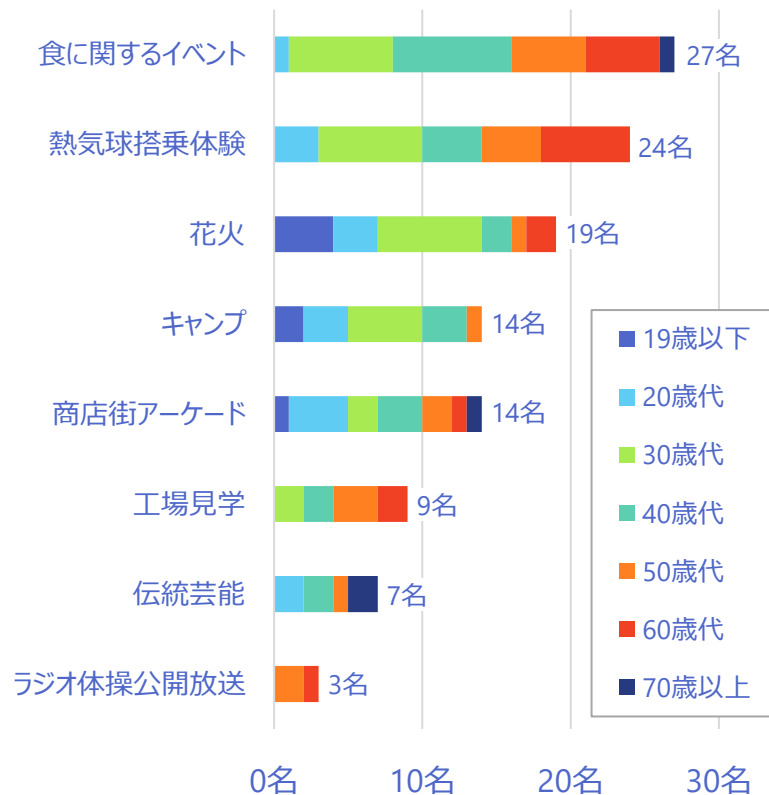


市内(旧今治市)が約半分
市内(旧今治市以外)が約1割
市外が約4割

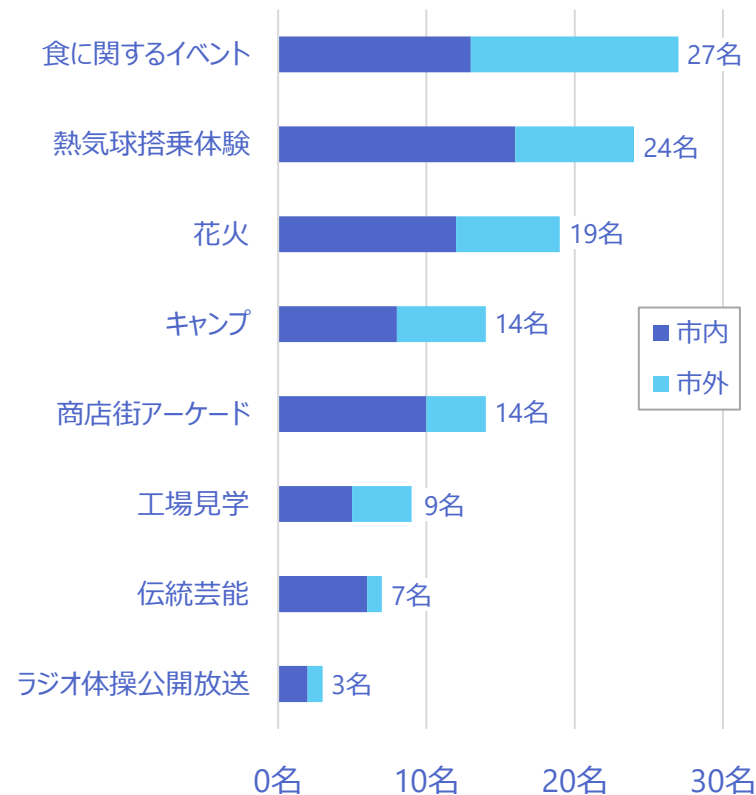
市民アンケート調査の結果

◇参加したいイベント(一つ選択)

年代別



居住地別

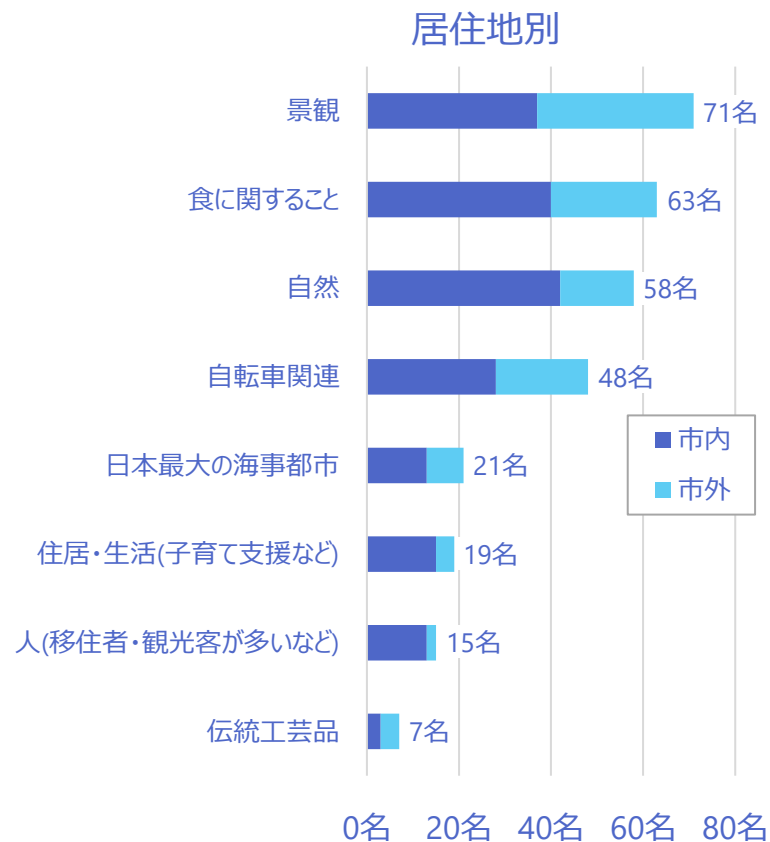
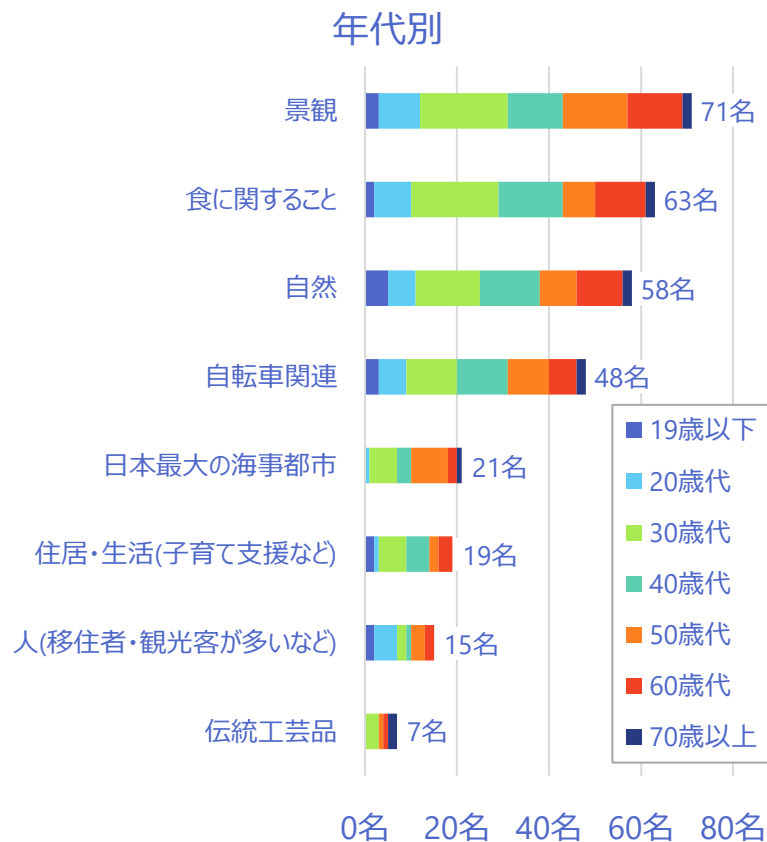


- 『食に関するイベント』、『熱気球搭乗体験』は、幅広い年代から多くの賛同を得ている。
- 『花火』、『キャンプ』は、19歳以下の若い年代から賛同を得ている。

- 全体では『食に関するイベント』がトップだが、市内居住者では『熱気球搭乗体験』がトップとなる。
- 『食に関するイベント』は、市外居住者からの回答が多い。

市民アンケート調査の結果

◇今治市の良いところ(最大3つまで選択)



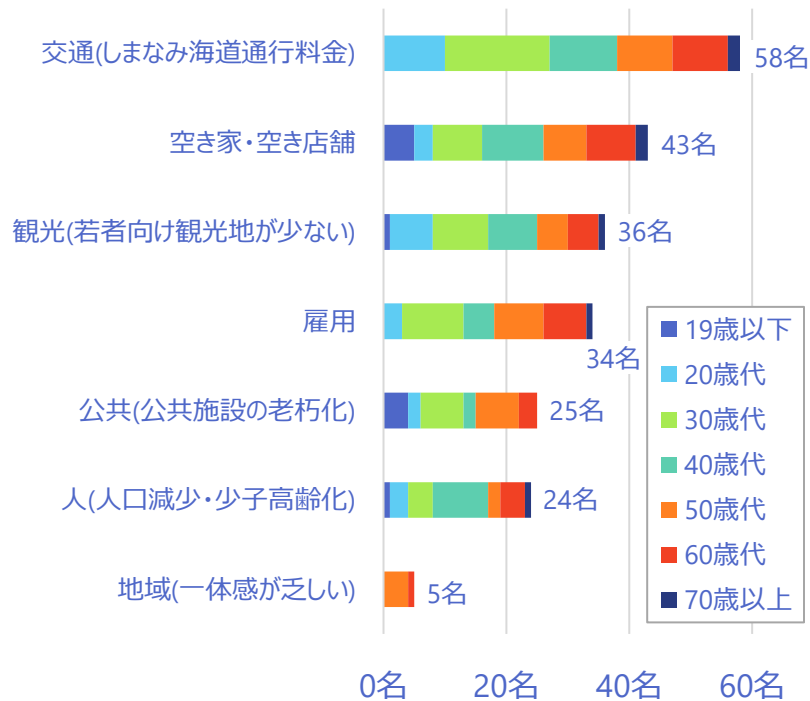
- 『景観』、『食に関すること』、『自然』、『自転車関連』が、幅広い年代から選ばれている。
- 50歳代、60歳代の回答者のうち7割が、『景観』、『自然』を選んでいる。
- 30歳代、40歳代の回答者のうち6割が、『食に関すること』を選んでいる。

- 市内居住者は、『自然』、『食に関すること』への評価が高い。
- 『景観』に関して、市内・市外居住者ともに評価が高く、市外居住者の割合が高い。
- 『自転車関連』は、相対的に市外居住者の評価が高い。

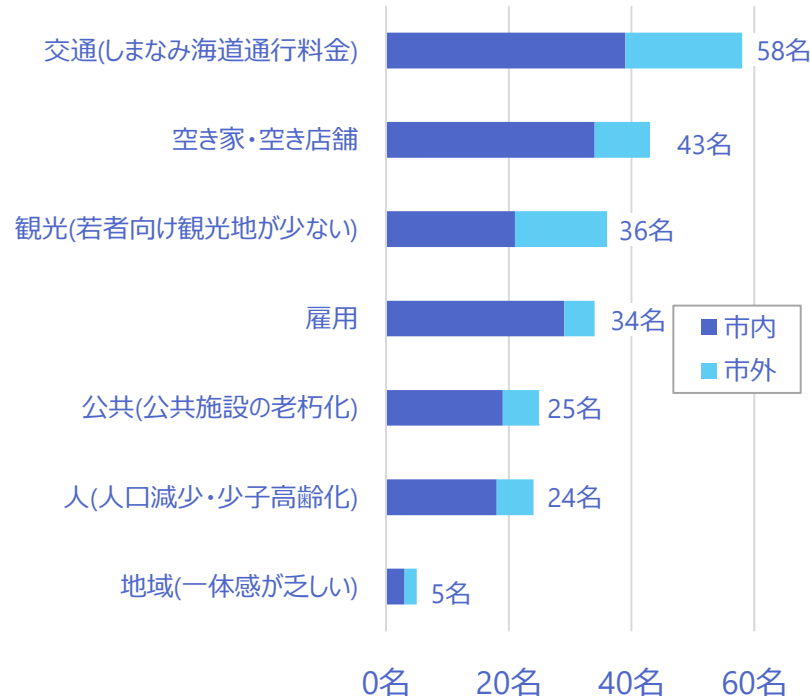
市民アンケート調査の結果

◇今治市の課題・良くなってほしい点(最大3つまで選択)

年代別



居住地別



- 『交通』がトップであり、幅広い年代から選ばれているが、19歳以下からの回答はなかった。
- 『雇用』に関しても、19歳以下からの回答がなかった。

- 『交通』に関して、市内・市外居住者の双方が課題と感じている。
- 市外居住者では、『交通』に次いで『観光』を課題として回答している。
- 『空き家・空き店舗』、『雇用』、『公共』、『人』に関することは、相対的に市内居住者の回答が多い。

食を通じた地域の魅力発信

地域の食材



連携



大阪・関西万博

『おむすび』を通じて、今治市の地域の食の魅力・豊かさを市内外にPRします。

◇今治が誇る12地域の豊かな食材を使った『おむすび』



▲ 吉海	地元精肉店の焼豚を使った焼豚マヨ
▲ 波方 / ▲ 大三島	牡蠣のしぐれ煮
▲ 朝倉 X ▲ 伯方	塩むすび
▲ 宮窪 X ▲ 今治	鯛のダシ醤油漬け
▲ 菊間 X ▲ 玉川	ちりめんしいたけ
▲ 関前 X ▲ 波方	サワラの西京焼き
▲ 菊間 X ▲ 伯方	仙高ポーク※の塩だれ風
▲ 玉川 X ▲ 菊間	炊き込みご飯
X ▲ 今治	【マコモダケ×菊間揚げ×媛っこ地鶏】



※出典： <http://www.ja-ochiima.or.jp/business/einou/win09/>

◇『おむすび』を通じた地域の食のPR

- 大手コンビニチェーンとタイアップした期間限定おむすびの販売
- 大阪・関西万博での『おむすび』提供

熱気球搭乗体験

景観



自然・文化・歴史



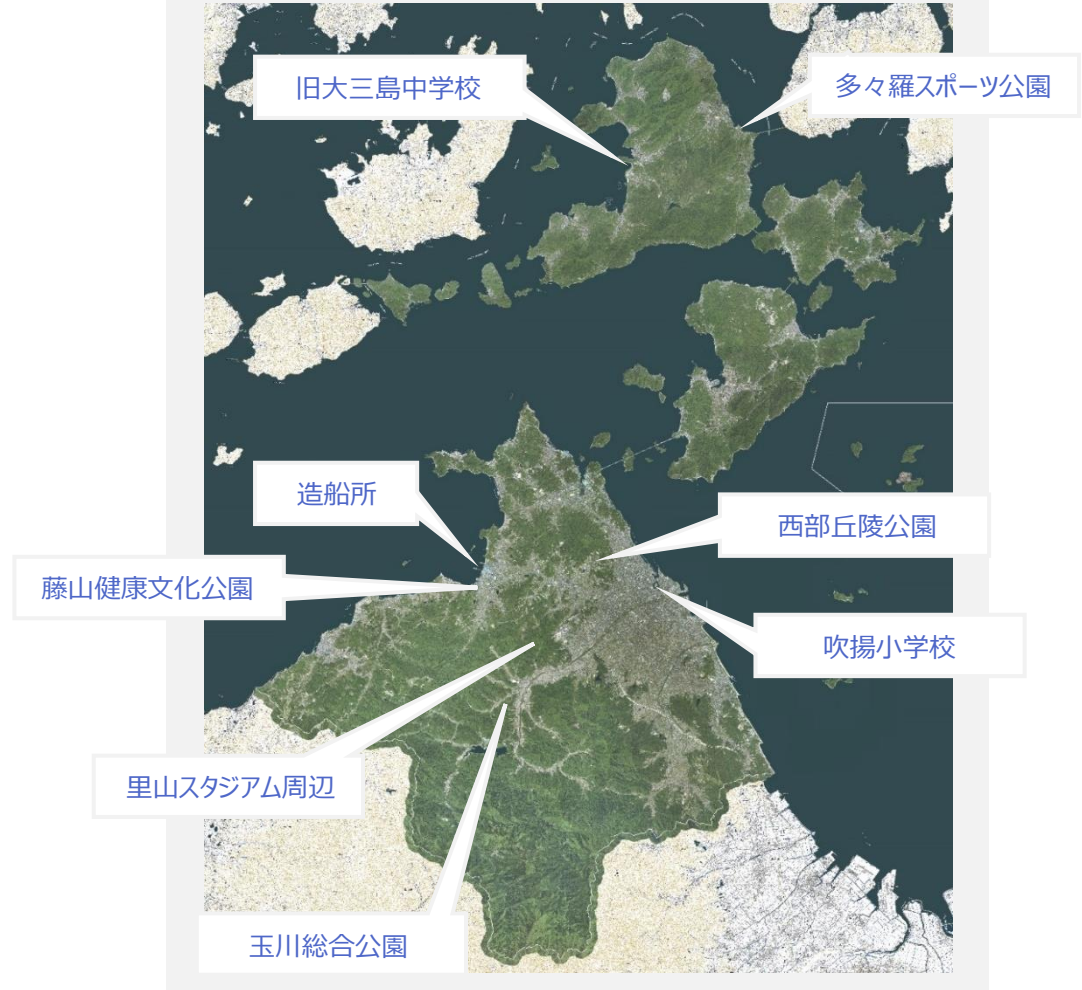
体験

熱気球に搭乗し、普段見慣れた景色を違った視点から眺めることで、地域の魅力を再認識します。

◇みきゃん型熱気球による搭乗体験



◇実施候補地



◇キャンプに関するイベント

- キャンプ×音楽ライブ



◇伝統芸能の活用

- 各地域の盆踊りを集めた今治城下での盆踊り大会



◇造船所等の工場見学

- 進水式の一般公開、工場夜景ナイトツアー



◇市域全域で打ち上げ花火

- 市内12地域で打ち上げ花火



◇スタンプラリーの実施

- J A F が提供するドライブスタンプラリー※を活用



※出典： <http://area.jaf.or.jp/drive/stamp-rally>

- スタンプスポットは、イベント開催地やポスター掲載地など



よしみバラ祭り



鴨池海岸(大西)のだるま夕日

こどもみらい会議の開催

子ども × まちづくり × 20年

これから20年の今治市のまちづくりの中心となる「小学生」、「中学生」、「高校生」が、20年後の今治市について考えます。

◇実施概要

● 時期・場所

令和6年夏 今治市営中央体育館

● 参加者

市内の小学校26校、中学校17校、高校10校に通う児童・生徒

● 実施方法

グループに分かれて、今治市の20年後について話し合う

● 参加者の役割

高校生：会の進行、全体総括、各グループのサポート

中学生：各グループの取りまとめ

小学生：グループメンバーとして意見出し

● 概算費用

800千円

【内訳】会場代：100千円、交通費(バス借上代)：500千円、その他事務経費：200千円

人口減少は避けられないけれど、1人ひとりが真ん中、みんなが真ん中

◇戻りたいと思えるまち 『いまばり』に

- 市民が一番“今治ファン”のまち
- “働きたい”、“チャレンジしたい”と思えるまち
- 若者が集える、活気あるまち
- “つながり”あるまち

◇みんなが安心して暮らせる・ 子育てできるまちに

- どの地域、どの世代も適切な医療・サービスが受けられるまち
- 場所（交流の場、出かける場、高齢者活躍の場）の充実とそこへのアクセスが良いまち
- 災害に強いまち

◇今ある地域の魅力を後世へ

- まつりや盆踊りなどの伝統文化が残り、それを楽しめるまち
- 地域がもつ魅力が輝くまち
- 古い施設が生まれ変わり、新たな交流の場となったまち

